

能美市地域福祉活動計画第5回アクションプラン推進協議会

1. 開催日時：平成21年2月9日(月) 午後1時30分～
2. 開催場所：辰口健康福祉センター ホール
3. 出席者(敬称略)

高塚亮三(福祉施設等)・宮田明(市自治公民会協議会)

...地域福祉人づくり委員会

今川清知(一般公募)・西邦昭(市町会長連合会)・西出紀代美

...地域福祉ネットワークづくり委員会

喜多泉(子育てに関わる団体)・近藤沙夜里(一般公募)

...地域福祉支えあいのしくみづくり委員会

西川方敏(市ボランティア連絡協議会)・田中策次郎(一般公募)

...私たちのボランティアセンターづくり委員会

佐々木真知子... (評価委員会委員長)

宮本長興・吉田健造・新川葉子・海道伸子・南敦子・南野和美・仁地美代・新田亜希子・森田友貴(社会福祉協議会)

欠席者(敬称略)

荒井昌宏... (評価委員会副委員長)

4. 会議次第

1. 開会の挨拶
2. 各アクションプラン委員会からの報告
3. 評価の方法について
4. 今後の予定
 - 1) 第1回地域福祉フォーラム(案)について(再提出)
受付(各AP委員会から1名ずつ)
進行
地域福祉実践活動発表者
資料の確認
 - 2) その他
評価委員会の開催について
H21年度AP委員会委員について

5. その他、次回開催日時

6. 閉会の挨拶

1. 開催の挨拶

高塚委員長

地域福祉フォーラムの開催も近づき、大詰めの時期に入った。本日は、まとめに入っている。ききたいと思っている。

2. 各アクションプラン委員会からの報告

地域福祉支えあいのしくみづくり委員会

ファミリー・サポート・センターの1月までの活動状況の確認。

子育て支援については、まだ、市内全域には行き渡っていない。「心」の部分での子育て支援を広めていくことが必要。

来年度も子育て支援の部分を中心に協議を継続したい旨を確認した。

ファミリー・サポート・センター運営委員会の構築について、今は、位置づけはされていないので、この委員会に参加しているメンバーで進めていく。

地域福祉フォーラムでは、前回報告の通り、ポイントを絞って「寸劇」で報告する。

地域福祉ボランティアセンターづくり委員会

ボランティアセンター情報発信 PR 一覧表の作成についての確認。

ボランティア・コミュニティ活動支援センター運営委員会の規約についての検討・確認。

委員会メンバー以外の意識付けまでにはまだ至っていないのが現状であり、広報とシステムの2つで足踏みをしている。

地域福祉人づくり委員会

人づくり委員会構成団体の活動紹介一覧表の整理を行う（継続協議）

「ふれあい福祉事業」について、5W2Hを作成（継続協議）

「ふれあい福祉事業」と「地域福祉委員会の活動」の関係については、今後、NWづくり委員会との連携や整理等が必要になるかもしれない。

評価について、人づくり委員会ならではのやり方でやっていかないと、市民の方々に「福祉の人づくり」の意味について、なかなか、伝えていけないのではないか。

地域福祉ネットワークづくり委員会

1月16日、第4回AP推進協議会開催後、第5回NWづくり委員会と兼ね、第2回モデル地区地域福祉委員会打ち合わせ会を開催した。

モデル地区地域福祉委員会の活動状況について協議し、活動報告シート一覧を作成、まとめを行った。

地域福祉フォーラムでは、モデル地区地域福祉委員会からの活動報告を3地区からお願いすることの確認。

モデル地区地域福祉委員会活動報告集の発行についての確認。

H21年度も引き続き、モデル地区を指定し地域福祉委員会活動を支援したらよい。

誰もが運営できるような、わかりやすいいきいきサロン活動について今後、協議していく。福祉推進員の具体的な活動とは何かについて、今後、協議していく。

3. 評価の方法について

評価の項目について

- ・特に「今後の課題について」をきちんと出すことが、次年度以降の推進につながる。

評価を示す図について

- ・「達成度」は分かるが、「成果」、「効率性」については、補足がないと分かりづらい。
- ・「目標」に対する「達成度」ということで表す方がよいのではないか。

- ・評価をはかる「今いち・稍よし・まずまず」という文言は、より「質」の部分に近づいた評価の仕方であるが、もう少し、数量的に評価を出せるものもあってはどうか。

量的な達成について

- ・活動計画策定時に、「計画」というからには、ある程度の「数値目標」を示すことが必要であるという意見があった。

そのほか

- ・5年間の目標年次では、20年度は「詳細の決定と実施」であり、「評価」は21年度からになっている。1年目の取組みとしては、達成度の数値にあまりこだわらなくてもよいのではないか。
- ・第1回の地域福祉フォーラムでは、評価よりも、1年間の各AP委員会の進捗状況を理解していただくことの方が大切ではないか。
- ・評価については、あまり拘わらないでもよいが、ある程度は、形にしなければ21年度のAP委員が、今年度と同じような悩みを1年間抱えなければならないのではないか。
- ・だからこそ思い切って、1度、評価を出し、次年度につなげていってはどうか。

4. 今後の予定

1) 第1回地域福祉フォーラム(案)について(再提出)

- ・地域福祉フォーラムのサブタイトルは「～私が変わる！ 地域が変わる！～」とする。
- ・受付に付いては、各AP委員会から各1名ずつ出務する。
- ・進行はAP推進協議会役員が担当する。
- ・外部コーディネーターについて了解を得た。
- ・地域福祉活動実践者からの活動紹介は、コーディネーターとのディスカッションを交えながら行う。
- ・地域福祉活動実践紹介は、以下のとおり
 - ふれあい福祉運動会実行委員会
 - モデル地域福祉委員会3地区の発表(重点的な取組みを各紹介)
 - ファミリー・サポート・センター会員(寸劇とくっつける形で)
 - 能美市民ボランティアフェスティバル実行委員会
- ・休憩時間は、地域福祉活動の実践者発表のための舞台変えの時間を利用して各自で。
- ・当日の資料は、以下のとおり
 - AP委員会委員名簿
 - 「各AP委員会の協議経過の一覧」と「各AP委員会の1年目の取り組み報告」及び「今後の課題自己評価シート」を本冊子とする。
 - 「モデル地区地域福祉委員会活動報告集」と「能美市民ボランティアフェスティバル報告集」をそれぞれ別刷りで準備する。

2) その他

各AP委員会経過一覧について

- ・「各AP委員会の協議経過の一覧」を各AP委員に出すことにする。
- ・もう少し分量とポイントを絞って各AP委員会A4用紙1枚程度にし、地域福祉フォーラムには資料として出す。

・「各 AP 委員会の協議経過一覧」と「1 年目の取り組み報告及今後の課題をあげたシート」
について、各 AP 委員会ごとに内容を確認し、2 月 20 日までに事務局に提出する。
評価委員会の開催日時および具体的内容については、次回 AP 推進協議会で協議する。
H21 年度 AP 委員会委員について

・各 AP 委員会委員には、可能な限り、次年度も継続してお願いしたい（市社協から）

5 . 今回の次回開催日時

・3 月 3 日(火) 午後 1 時 30 分～ 辰口健康福祉センター

6 . 閉会の挨拶

西川副委員長

密度の濃い協議の時間であった。目標に対して取り組みの結果を評価し、また、再
思考して、時には、失敗もするかもしれないが、その失敗の蓄積が、私たちの地域
福祉の模範になっていくのだと思う。今後も各 AP 委員会で協議し、次回の会合で
さらに話を深めていきたい。